

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 4 | ○運営推進会議を活かした取り組み ・これまで事故やヒヤリハットについては報告共有できていたが、防災関連(避難訓練等)の報告に関しては議題に入れていなかった。 ・コロナ禍という事もあり家族代表の参加については書面で案内はしているが出席されていない状況となっている。 | ・防災関連についても報告事項に加え、参加者と情報共有を行い、防災対策に活かす。 ・コロナ禍においても、感染者数や医療現場等世間の状況が一定程度落ち着いた時点で、早期に家族様代表に参加して頂く。 | ・会議のレジュメに防災報告という項目を追加し、情報共有を図り参加者から意見を頂き、防災対策に活かせるよう取り組んでいく。 ・コロナ禍により家族会が開催出来ていないこともあり、家族会新代表が不在状況となっているが、集まらずに家族会新代表を決定する方法(書面等)を検討し、新代表を決定する。コロナ禍においても、感染者数や医療現場等世間の状況が一定程度落ち着いた時点で、早期に家族様代表に参加して頂けるよう取り組んでいく。 | 3ヶ月～ |
| 2 | 23 | ○思いや意向の把握 ・重度化されたり、感情の表出が困難な利用者様の思いや意向の把握については、自己表出可能な方と同様(同量)に、把握する事が難しい点もある。 | ・重度化されたり、感情の表出が困難な利用者様についても、自己表出可能な方と同様に思いや意向を把握し個々の「その人らしい」に繋がる支援をする。 | 重度化されたり、感情の表出が困難な利用者様については、感情の自己表出可能な方以上に、目配りやお声掛けを増やし、表情等をよく観察し思いや意向を汲み取れる様、様々なツールを使用し、職員間で共有する。 常に観察力と想像力を働かせる事を意識して関わり「その人らしい」支援に繋がるように取り組んでいく。 | 6ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。